



2023年度環境経営レポート

有限会社 野中製作所

活動期間：

2023年1月1日～12月31日

レポート発行日：2024年3月31日





・ 1.組織の概要	・ ・ ・ ・ 1 – 2
・ 2.対象範囲	・ ・ 3 – 4
・ 3.環境経営方針	・ ・ ・ ・ 5
・ 4.環境経営目標	・ ・ ・ ・ 6
・ 5.環境経営計画と実施状況	・ ・ 7 – 8
・ 6.環境経営計画に基づき実施した取組	・ ・ ・ 9 – 14
・ 7.環境経営計画の実績・取組結果とその評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・ ・ ・ ・ 15 – 19
・ 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ 20
・ 9.代表者による全体評価と見直しの結果	・ ・ ・ ・ 21

1.組織の概要



・ 社名： 有限会社 野中製作所

・ 所在地： 〒243-0303

神奈川県愛甲郡愛川町中津6853-3

[TEL：046-286-0228](tel:046-286-0228)

FAX：046-286-5558

・ HP： <http://www.nonakaseisakusyo.co.jp>

・ E-MAIL： mail@nonakaseisakusyo.co.jp

・ 延床面積： （工場専用地域） 800㎡

・ 創立： 昭和40年5月

・ 資本金： 500万円

・ 事業内容： 金属製品・精密機械加工

・ 従業員： 6名

・ 役員： 代表取締役社長 野中 貴宏

・ 環境経営責任者： 渡邊 和夫

1.組織の概要-2 主要製品

・半導体製造
装置用部品

・光学装置用
部品

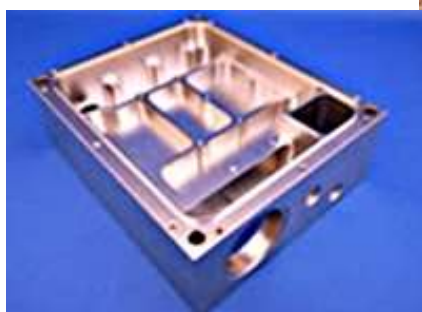
・車用組立用
治具

・産業用機械
部品

・衛星部品

・航空機部品

・医療機器部
品



※機密部品が多いため、写真の一部

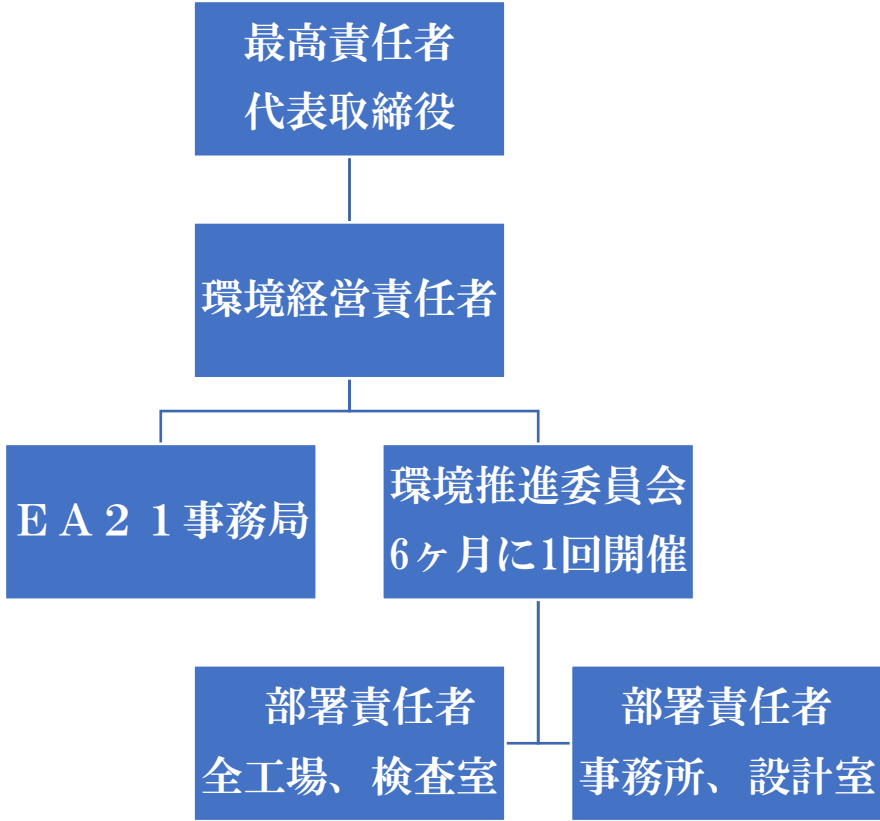
2.対象範囲

1.登録業種：

金属、精密機械加工製造業

2.登録範囲： 本社工場

3.組織図



2.対象範囲-役割

最高責任者 代表取締役

- 1.環境経営責任者の任命
- 2.環境経営方針の制定
- 3.環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備
- 4.環境経営システム全体の評価と定期的な見直し
- 5.社内情報の外部公開可否決定
- 6.経営における課題とチャンスを整理し明確にする
- 7.環境経営レポートの承認

環境経営責任者

- 1.環境経営システムの確立、実施推進及び維持管理のための
処置
- 2.環境経営システムの実績状況報告を3ヶ月に1度開催する
- 3.推進機関EA21事務局の責任者として事務局の運営
- 4.環境経営システムの教育・訓練を適切に計画・実施する
- 5.環境経営レポートの作成

部署責任者 事務所、設計室

- 1.部署の環境経営システムの統括責任者
- 2.環境経営システムの方針、実施計画を自部署にて実施、
維持、継続的改善を行う

環境推進委員会

- 1.最高責任者、環境経営責任者、部署責任者で
構成し6ヶ月に1度開催する
- 2.環境目標の設定、環境経営計画の策定および進捗
管理について協議する
- 3.必要と認めた者は出席することが出来る

E A 2 1 事務局

- 1.環境経営責任者を補佐する

3.環境経営方針

1. 基本理念

お客様のよきパートナーとしての的確にお客様の期待とニーズに応えて参ります。
その為に、次代の変化に即応しながら最新の技術や設備を積極的に導入し、
事業の合理化とお客様へ積極的にVA/VE提案ができるよう進めて参ります。
また全従業員が職場において環境保全活動を実践することにより高い
「環境品質」と「顧客満足度の向上」を実現し、社会の発展に貢献します。
またSDG s にも取り組み「持続可能な開発目標」の達成に貢献していきます。

2. 活動方針

当社の事業活動である精密機械加工と環境問題との関係を自覚し、
企業の社会的責任を果たす為、エコアクション21に基づく環境経営システムを
構築し、関連する法の順守はもとより、全員で環境保全活動の推進に努め
環境経営の継続的改善を進めて参ります。

具体的な取り組み内容

- 1.電力・燃料の消費に伴うCO2排出量の削減
- 2.節水活動により総排水量の削減
- 3.資源ゴミの分別とリサイクルの推進
- 4.化学物質使用量の抑制及び管理
- 5.製造製品の不適合発生の低減
- 6.環境を考えた備品及び資材の購入（グリーン購入）
- 7.法規制を遵守し、環境汚染の防止や環境保全の継続的改善を図ります。
- 8.地域社会へのボランティア等に貢献します。



全従業員が環境経営方針を理解し、自らの役割を十分に
認識し本方針に沿って活動が行われるよう環境教育を進めます。

環境への取組みを環境経営レポートとして、取りまとめ公表します。

制 定 ：2008年5月1日
最終改定：2022年12月1日

有限会社 野中製作所
代表取締役社長 野中 貴宏



4.環境経営目標

項目	基準年度 (2022年)	2025年度までの3年間で 2022年度の原単位より		
	上段：排出量 下段：原単位 排出量/200※1	2023年 0.1%削減	2024年 0.2%削減	2025年 0.3%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減	87,156(kg-co2) 436	87,070 435.3	86,982 434.9	86,895 434.5
1) 電気使用量削減 ※2	182,909(kWh) 915	182,726 914	182,543 913	182,360 912
2) 燃料使用量の削減 ガソリン&軽油	1,709 (L) 8.5	1707 8.54	1706 8.52	1704 8.51
LPガス	24 (m³) 0.12	23.97 0.1199	23.95 0.1198	23.92 0.1196
2. 総排水量の削減	82(m³) 0.41	81.9 0.4096	81.8 0.4092	81.8 0.4088
3. 廃棄物排出量の削減				
一般	221(kg) 1.1	220.7 1.104	220.5 1.103	220.3 1.102
産廃	220 (kg) 1.1	219.7 1.099	219.5 1.098	219.3 1.097
4. 化学物質使用量の抑制及び適正管理		使用量の把握と適正管理		
5. 製造製品での不適合発生の低減		年間5件以下		
6. 法規制順守と環境汚染の防止 (緊急時対応訓練の実施)		日常監視と年1回の確認		
7. 地域社会のボランティア		年1回以上の参加		

※1 原単位は排出量/200（売上金額を百万円で割った数字）

※2 二酸化炭素排出係数 2021年度 0.452東京電力

6.環境経営計画及び実施状況-1-1

環境目標	取組内容	計画期間・実績												評価
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1. 二酸化炭素排出量の削減 1) 電気使用量の削減 	・エコ文書の電子化	←											→	◎
	・電力監視システムを活用し、節電を推進する。	←											→	◎
	・デマンド設定値の定期的な見直し	←											→	◎
	・手元ライトの活用	←											→	◎
	・各所に「節電」の表記を行い節電活動を推進する。	←											→	◎
	・採光・通風を積極的に取り入れる。	←											→	◎
	・休憩時間の消灯の徹底	←											→	◎
	・照明器具の定期清掃						6月↔							◎
	・作業終了時現場消灯の徹底	←											→	◎
	【空調】													
2) 燃料使用量の削減 	すきま風対策													
	・シャッターにカーテンを設置し、断熱する	←											→	◎
	・検査室のシャッターを発泡スチロールで断熱する	←					→							◎
	・扇風機を使用し天井ファン代わりにする	←											→	◎
	・グリーンカーテンの育成													◎
	・室外機の清掃を年1回行う。						6月↔							◎
	・冷暖房設定温度を表記し、遵守する。	←											→	◎
	・フィルター清掃を定期的に行う。	←											→	◎
	【機械等】													
	・作業終了時の電源OFFの徹底	←											→	◎
2 総排水量の削減 	【ガソリン・軽油・灯油】													
	・エコドライブを推進する。	←											→	◎
	・パネルは燃費モードを表示し、常にエコ運転を意識する。	←											→	◎
	・フォークリフトは荷物によって適切なギアを使用する。	←											→	◎
	・井戸水を活用する。	←											→	◎
	・水道の元栓を故障がない程度に閉め、節水する。	←											→	◎
	・水道管からの漏洩がないよう定期チェックを行う。													◎
	・各所に「節水」の表記を行い節水活動を推進する。	←											→	◎

6.環境経営計画及び実施状況-1-2

環境目標	取組内容	計画期間・実績												評価
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
3. 廃棄物排出量の削減  【紙類】 【一般廃棄物】 【産業廃棄物】	・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する。	←												◎
	・コピー用紙の裏面の再使用を徹底する。	←												◎
	・使用済み封筒を再利用する。	←												◎
	・梱包紙もきれいな物は再利用する。	←												◎
	・廃棄用紙は、シュレッダーし、緩衝材として使用する。	←												◎
	・電子データ化を推進し出力用紙を削減する。	←												◎
	・ゴミの分別をさらに精度を上げ、資源ゴミへ	←												◎
	・梱包材の分別を細かく、資源ゴミへ	←												◎
	・かさ張る物はなるべく小さく、つぶして捨てる	←												◎
	・個人的なゴミは持ち込まないよう徹底する。	←												◎
	・リサイクルし易いものを優先的に購入する。	←												◎
	・可能な限り再生屑に回すよう、分別を徹底する。	←												◎
4. 化学物質の管理 	・化学物質使用量の把握と管理	←												◎
	・使用する前に切削油であらかた流してから使用する	←												◎
	・容器は各工場1つとし、削減に務める	←												◎
	・容器にはいっぱいに入れない	←												◎
5. 製造製品での 不適合の発生の低減 	・発生時には会議を開き、再発防止対策をする。	←												◎
	・社内不具合も標準化し、未然防止に努める。	←												◎
	・古いリピート品に関してはプログラムを再確認する	←												◎
	・気温・湿度の変化が大きい時はこまめに寸法チェックを行う	←												◎
	・失敗のリスクを先に考えて段取りする	←												◎
6. 業務改善 	・生産効率化のしくみを計画する	←												◎
	・刃物棚の整理と運用管理の徹底	←												◎
	・提案制度の導入	←												◎
	・設備の再確認	←												◎
7. ①法規制遵守と 環境汚染の防止 ②緊急時対応訓練 	・遵守状況管理一覧表に基づき、日常監視する。	←												◎
	・年1回遵守評価をする。												12月←→	◎
	・他社見学を実施する。	←												◎
	・緊急時対応訓練を計画、実施する。													◎
	・防災用品・備蓄の点検を行う。													◎
	・BCPの継続	←												◎
	・USBにバックアップを取る	←												◎
	・交通事故関連対応マニュアル作成と安全運転トレーニングの開催	←												◎
8. ①地域社会へのボランティア  ②5Sの推進	・積極的にボランティアへ参加する。	←												◎
	・フードバンクへ寄付する。	←												◎
	・クリーンキャンペーンに参加する	←												◎
	・月1回、日時を決めて作業しフォローアップも行う	←												◎

※青字は昨年度未実施施策 ・ 赤字は新規施策

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容-1

1.電気使用量の削減



検査室シャッターの断熱



検査室は、物の搬入経路としてシャッターで開閉出来るようになっているが、ほとんど、使用していないため、すき間風対策として発泡スチロール・ビニールベニヤで覆い、必要な場合は、外せるように自作しました。

2.業務改善-1



①三次元測定機講習受講

1名



三次元測定機を新設し、講習を受けました。旧機よりさらに高精度な測定ができるため、販路拡大に繋がりたいと思います。

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容-2

2.業務改善-2



②ChatGPTセミナー受講 1名

ChatGPTの概要と経営活用のメリット留意点のセミナーを受講しました。



中小企業向けの経営活用術を講義いただきました。
AIを活用できるよう勉強して
業務改善に繋がりたいと思います。

3.地域社会へのボランティア



①児童養護施設に寄付

地域社会に何か貢献できないかと話合いました。
「子供達のために」という思いから、
近隣の児童養護施設へ寄付をしました。

実際に訪問し、子供達の様子も見学。
何かお手伝いできる事があれば、また訪れたいと思います。
寄付は毎年続けられるよう、頑張っていきます。



6.環境経営計画に基づき実施した取組内容-3

4.緊急時対応訓練



①東京国際消防防災展 2023に行ってきました。 6月16日 5名



救助・消火の屋外実演が迫力があり、
人命救助のありがたみを痛感しました。



技術・機材の進歩がすごく、
当社に適した製品があればと
参考になりました。

VR起震車は360度の臨場感で
物が倒れてくる恐怖を感じ、
家の中を再確認しようと思いました。

②共栄会主催、防災訓練に参加しました。 9月5日 5名



真っ暗な中の煙体験はとても怖く、
ライトを使用する事も浮かばずパニック、
繰り返しの訓練の必要性を感じました。

消火器訓練
室内は出入口に立つ、室外は風上
に立つ、忘れてました。

貴重な放水体験をさせていただきました。

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容-4

②危険予知トレーニング



弊社では、車通勤者が多いため、J A F がアップしている危険予知トレーニングを月1回視聴し、交通安全トレーニングを実施しています。

5.SDG s



2023年4月
かながわSDGsパートナーへ登録されました。
EA21と共にSDGs活動及び普及促進に取り組んでいきます。

6.パートナーシップ構築宣言



2023年4月
中小企業庁主催
パートナーシップ構築宣言に登録しました。
サプライチェーン全体の連携と取引慣行の順守に取り組んでいきます。

6.環境経営計画に基づき実施した取組内容-5

15年にわたりEA21を継続し、色々な活動をしてきましたので、活動年表としてまとめてみました。

(有)野中製作所 エコアクション21 活動年表

2008年6月

6月

9月2日

エコアクション21キックオフ

環境レポート初版発行

EA21認証・登録

- ・エコパトロールを開始
- ・デマンドコントロールシステムの導入
- ・消防署立会、避難訓練の実施
- ・水質事故訓練に参加
- ・トイレ、洗面所に節水コマを設置



2010年

- ・消防署立会、避難訓練の実施
- ・クリーンキャンペーン参加

2011年

- ・エアコン室外機の冷却用散水機の自作
- ・機械の浮遊物・浮上油回収装置を導入
- ・窓に簡易断熱材を施工
- ・救急救命講座初級を受講
- ・井戸を復活工事し、井戸水の活用開始



2012年

- ・シャッターにウォーターカーテンを自作
- ・冷風機を自作
- ・防災用品・食糧の備蓄を開始



2013年

- ・グリーンカーテンを始める
- ・BCPセミナー参加
- ・BCP認定 (NPO法人かながわカウンセラー協会)
- ・3社合同の消防署立会、避難訓練の実施
- ・マイ箸運動を開始
- ・検査室のシャッターに発泡スチロールをはめ込みすきま風対策
- ・ダクトを購入し、送風機として使用



2014年

- ・蛍光灯からLEDに切り替え始める
- ・室外機によらずで日除けの作成
- ・コンプレッサーをインバータータイプに入れ替え
- ・愛川ソーラーパーク見学
- ・チャリティーウォーキングに参加
- ・クリーンキャンペーンに参加
- ・間伐材支援費つきコピー用紙の購入
- ・作業テーブル、共通工具置き場の自作



2015年

- ・手洗い場に自動水栓の設置
- ・センサーライトの設置
- ・避難訓練-防災リュックを背負い広域避難所まで
- ・保存食の試食
- ・アースディに参加
- ・商工会主催「環境へ取り組みつつ儲ける手法セミナー」参加



2016年

- ・遮光ネットの設置
- ・防犯カメラを設置
- ・工業会主催「ものづくり戦略セミナー」参加
- ・アサヒビール足利工場見学
- ・エコライフ・フェアに参加

2017年

- ・県庁・環境計画課による「省エネ診断」を受ける
- ・横浜防災センター見学
- ・共栄会主催、避難訓練に参加



2018年

- ・そなエリア見学
- ・エアコンの更新と追加新設
- ・屋根の遮熱塗装を実施
- ・環境展見学
- ・富士ゼロックス竹松工場、会社見学



2019年

- ・リコー環境事業開発センター見学
- ・災害時の調理法にチャレンジ
- ・シャッターに遮熱塗装を実施
- ・産廃業者を見学
- ・エコアクション21・10年継続達成



2020年

- ・高座クリーンセンター見学
- ・神奈川県中小企業中央会主催「コロナ禍のBCPセミナー」視聴
- ・共栄会主催「BCPセミナー」参加
- ・工場内に蓄光塗料で目印を作成
- ・一部トイレの排水を井戸水に改良



2021年

- ・防災新常識をクイズ形式で学習
- ・9月1日伝言ダイヤルの復習



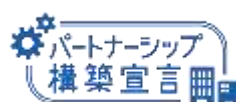
2022年

- ・気象庁科学館見学
- ・相模原市防災訓練に参加
- ・日本テクノ主催「電気の勉強会」受講
- ・JIMTOF見学
- ・かながわ環境カウンセラー主催「SDGsセミナー」参加



2023年

- ・かながわSDGsパートナー登録
- ・パートナー構築宣言登録
- ・東京国際消防防災展、見学
- ・共栄会主催、防災訓練参加



7-1.環境経営計画の実績取組結果とその評価

項目	基準年度 (2022年)	2023年度 目標原単位	今年度実績 (2023年)	増減%	評価
	上段：排出量(参考値) 下段：原単位 排出量/売上 (200百万	基準年度より 0.1%減	売上 (137百万円)	32% ↓	※2
1. 二酸化炭素排出量の削減	87,156 (kg-CO2)		76,851 (kg-CO2)		
	436	435.3	560	22% ↑	×
1) 電気使用量削減(kwh)	182,909 (kWh)		162,417 (kWh)		
※1	915	914	1,185	23% ↑	×
2) 燃料使用量の削減					
ガソリン・軽油 (L)	1709 (L)		1326 (L)		
	8.5	8.54	9.7	12% ↑	×
LPガス (㎡)	24 (㎡)		18 (㎡)		
	0.12	0.1199	0.13	8%	△
2. 総排水量の削減 (㎡)	82 (㎡)		73 (㎡)		
	0.41	0.4096	0.53	23% ↑	×
3. 廃棄物排出量の削減					
一般 (kg)	221 (kg)		333 (kg)		
	1.1	1.104	2.4	54% ↑	×
産廃 (kg)	220 (kg)		2080 (kg)		
	1.1	1.099	15.2	93% ↑	×
4. 化学物質使用量の抑制及び適正管理			使用量の把握と適正管理	◎	
5. 製造製品での不適合発生の低減			年間7件以下	3件 ◎	
6. 法規制順守と環境汚染の防止 (緊急時対応訓練の実施)			日常監視と年1回の確認	◎	
7. 地域社会のボランティア			年1回以上の参加	◎	

※1：二酸化炭素排出係数 2021年 0.452東京電力

※2：増減10%以内は△としました。

7-1.環境経営計画の実績取組結果とその評価

項目 目標原単位に対して	評価内容	次年度の取組
全体 売上32%減	目標年度の売上より32%減となり、 原単位比較だと、どれも目標未達の結果。 15年間たくさんの施策をやり尽くした感もあるが、使用量削減の意識は高く、 たくさんの施策をこなした事を評価したい。	目標の見直しを検討する。 視野を広げ、外部、パートナーシップ等の連携を検討する。
二酸化炭素排出量 22%増 ×	原単位比較だと増。 5年前からのデータと比較しても 確実に排出量は削減し続けている。	原単位比較が目標なので、売上アップも視野に入れ、総量の削減をし続けられるよう新たな施策に取り組む。
電気使用量 23%増 ×	原単位で増。 仕事の質による部分もあり、働き方改革の影響で効率が悪い部分もあった。	機械1台新設のため、増加の予想だが、効率向上のための施策を検討。 エアコンの更新も検討。 新電力も検討。
燃料使用量 12%増 ×	売上減により社有車の活動も減ではある。 毎月のエコドライブチェックにより 燃費は向上、トラックも買い替えたので 来年に期待。	エコドライブチェックを継続する。
水使用量 23%増 ×	原単位で増だが、 2011年より井戸水を活用しているので、 使用量は激減している。	節水の意識を継続していく。
廃棄物 一般 産廃 × 54%増 93%増	機械の新規導入に伴い、大掛かりな 片付けとなり増加は仕方がない。	少しでもリサイクルに回す方法を 検討する。
不適合件数 ○ 3件	経験・技術のレベルアップにより 年々減少と良い結果である。	不適合・再発防止策の情報共有に 努め、ゼロを目指す。
法規制順守 緊急時対応訓練 ○ ○	違反する事項はなし。 東京消防ショーや共栄会の避難訓練に 参加できた。	能登半島地震を受けBCP等、見直しを行う。 緊急時対応訓練を計画する
ボランティア エコパトロール ○ ○	児童養護施設に寄付できた。 5Sや業務改善にエコパトロールが寄与している。	寄付は、継続していきたい。 常にエコパトロールの内容を精査していく。

7-2.中長期の環境経営目標



項目	基準値 (2023年)	2026年度までの3年間で 2023年の原単位より		
	上段：排出量	2024年	2025年	2026年
	下段：原単位 排出量/144（百万円）※1	0.1%削減	0.2%削減	0.3%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減	76,851(kg-co2) 533.68	76,774 533.15	76,697 532.61	76,620 532.08
1) 電気使用量削減 ※2	162,417(kWh) 11,278	162,255 11,267	162,092 11,255	161,930 11,244
2) 燃料使用量の削減				
ガソリン&軽油	1326 (L) 9.21	1325 9.19	1323 9.18	1322 9.17
LPガス	18 (m³) 0.125	17.98 0.125	17.96 0.125	17.94 0.125
2. 総排水量の削減	73(m³) 0.505	72.9 0.505	72.85 0.505	72.8 0.504
3. 廃棄物排出量の削減				
一般	333(kg) 2.31	332.7 2.27	332.3 2.25	332.0 2.23
産廃	827(kg) 5.74	826 5.68	825 5.63	824.5 5.57
4. 化学物質使用量の抑制及び適正管理		使用量の把握と適正管理		
5. 製造製品での不適合発生の低減		年間5件以下		
6. 法規制順守と環境汚染の防止 (緊急時対応訓練の実施)		日常監視と年1回の確認		
7. 地域社会のボランティア		年1回以上の参加		

※1 原単位は売上額の5年平均値を百万円で割った数字に変更

※2 二酸化炭素排出係数 2021年度 0.452東京電力

7-3.次年度の環境経営目標及び環境経営計画-1



環境目標	取組内容	計画期間												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
1. 二酸化炭素排出量の削減 1) 電気使用量の削減  	・エコ文書の電子化	<----->											>----->	
	・電力監視システムを活用し、節電を推進する。	<----->											>----->	
	・デマンド設定値の定期的な見直し	<----->											>----->	
	・手元ライトの活用	<----->											>----->	
	・各所に「節電」の表記を行い節電活動を推進する。	<----->											>----->	
	・採光・通風を積極的に取り入れる。	<----->											>----->	
	・休憩時間の消灯の徹底	<----->											>----->	
	・照明器具の定期清掃						6月	<----->					>----->	
	・作業終了時現場消灯の徹底	<----->											>----->	
	・第二工場の常夜灯のLED化	<----->											>----->	
	・電力会社変更の検討	<----->											>----->	
	【空調】													>----->
	すきま風対策													>----->
	・シャッターにカーテンを設置し、断熱する	<----->											>----->	
	・扇風機を使用し天井ファン代わりにする	<----->											>----->	
	・グリーンカーテンの育成													>----->
	・室外機の清掃を年1回行う。													>----->
	・冷暖房設定温度を表記し、遵守する。	<----->												>----->
・フィルター清掃を定期的に行う。	<----->												>----->	
・ダクトを自作し、冷暖の循環を良くし、節電する	<----->												>----->	
・エアコンの更新を検討する	<----->												>----->	
	【機械等】													>----->
	・作業終了時の電源OFFの徹底	<----->												>----->
	・30分以上動かない事が分かっている場合は、OFFor節電モード	<----->												>----->
	・不必要なアイドル運転の削減	<----->												>----->
2) 燃料使用量の削減  	・定期清掃及びこまめにメンテナンスを行う。						5月	<----->				11月	<----->	>----->
	【ガソリン・軽油】													>----->
	・エコドライブを推進する。	<----->												>----->
	・パネルは燃費モードを表示し、常にエコ運転を意識する。	<----->												>----->
	・フォークリフトは荷物によって適切なギアを使用する。	<----->												>----->
		<----->												>----->
2 総排水量の削減  	・井戸水を活用する。	<----->												>----->
	・水道の元栓を支障がない程度に閉め、節水する。	<----->												>----->
	・水道管からの漏洩がないよう定期チェックを行う。													>----->
	・各所に「節水」の表記を行い節水活動を推進する。	<----->												>----->
														>----->

7-3.次年度の環境経営目標及び環境経営計画-2

環境目標	取組内容	計画期間											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
3. 廃棄物排出量の削減  【紙類】 ・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する。 ・コピー用紙の裏面の再使用を徹底する。 ・使用済み封筒を再利用する。 ・梱包紙もきれいな物は再利用する。 ・廃棄用紙は、シュレッダーし、緩衝材として使用する。 ・電子データ化を推進し出力用紙を削減する。 【一般廃棄物】 ・ゴミの分別の精度を上げ、資源ゴミへ ・梱包材の分別を細かく、資源ゴミへ ・かさ張る物はなるべく小さく、つぶして捨てる ・個人的なゴミは持ち込まないよう徹底する。 ・リサイクルしやすいものを優先的に購入する。 【産業廃棄物】 ・可能な限り再生屑に回すよう、分別を徹底する。 ・工場内の修理等、再利用する	・PCからFAXやメールを送り、出力用紙を削減する。 ・コピー用紙の裏面の再使用を徹底する。 ・使用済み封筒を再利用する。 ・梱包紙もきれいな物は再利用する。 ・廃棄用紙は、シュレッダーし、緩衝材として使用する。 ・電子データ化を推進し出力用紙を削減する。 ・ゴミの分別の精度を上げ、資源ゴミへ ・梱包材の分別を細かく、資源ゴミへ ・かさ張る物はなるべく小さく、つぶして捨てる ・個人的なゴミは持ち込まないよう徹底する。 ・リサイクルしやすいものを優先的に購入する。 ・可能な限り再生屑に回すよう、分別を徹底する。 ・工場内の修理等、再利用する	←											→
4. 化学物質の管理 	・化学物質使用量の把握と管理 ・使用する前に切削油であらかた流してから使用する ・容器は各工場1つとし、削減に務める ・容器にはいっぱいに入れない	←											→
5. 製造製品での不適合の発生低減 	・発生時には会議を開き、再発防止対策をする。 ・社内不具合も標準化し、未然防止に努める。 ・古いレポート品に関してはプログラムを再確認する ・気温・湿度の変化が大きい時はこまめに寸法チェックを行う ・失敗のリスクを先に考えて段取りする ・スキルアップを目指し資格取得を計画する。	←											→
6. 業務改善 	・生産効率化のしくみを計画する ・刃物棚の整理と運用管理の徹底 ・設備の再確認 ・健康経営を目指し血圧計・体温計でチェックを行う ・シャッターに定期的に油を注しスムーズに開閉出来るようにする	←											→
7. ①法規制遵守と環境汚染の防止 ②緊急時対応訓練 	・遵守状況管理一覧表に基づき、日常監視する。 ・年1回遵守評価をする。 ・他社見学を実施する。 ・緊急時対応訓練を計画、実施する。 ・防災用品・備蓄の点検を行う。 ・B C Pの見直し（能登半島地震を受けて） ・データバックアップ方法の検討・実施 ・交通事故関連対応マニュアル作成と安全運転トレーニングの開催	←											→
8. ①地域社会へのボランティア  ②5Sの推進	・積極的にボランティアへ参加する。 ・地域社会へ寄付する。 ・クリーンキャンペーンに参加する ・月1回、日時を決めて作業しフォローアップも行う	←											→

※青字は昨年度未実施施策 ・ 赤字は新規施策

8.環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

1.当社に適用される主な環境関連法規

- ①騒音規制法・振動規制法
- ②廃棄物処理法
- ③消防法
- ④自動車NO_x・PM法
- ⑤グリーン購入法
- ⑥PRTR法
- ⑦フロン排出抑制法

2.環境関連法規の遵守状況

自主的に、当社に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、2024年2月5日現在過去3年間、違反はありませんでした。

3.違反・訴訟等の有無

関連機関等からの法規制違反の指摘及び訴訟などの請求もありませんでした。

9.代表者による全体の評価と見直し

				代表者承認	環境管理責任者
					
結果報告書					
見直し実施日	2024年2月5日 (☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)				
見直し対象期間	2023年 1月 1日 ~2023年 12月31日				
出席者	代表者、環境経営責任者、部門責任者				
前回の指示への取組結果	A-1.活動計画に追記しました。 A-2.活動年表を作成しました。				
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等の遵守記録による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施及び運用結果(環境経営計画書による)				
代表者による評価	【環境経営システムが有効に機能しているか】 (①、②等を踏まえて評価) 法規制の遵守状況は問題なく、外部苦情などもなく、環境経営システムは有効に機能していると考えている。				
	【環境への取組が適切に実施されているか】				
	目標項目	数値目標達成状況	活動計画実施状況	目標・経営計画実施状況の評価 (達成の場合：目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合：(1部未達の場合、90%以上なら、△とする) 原因の明確化、次年度の目標や対応策	
	CO2排出量の削減	×	○	総労働時間・売上・電気使用量は、ともに減っているが、売上に比例していないため、未達。 電気使用量の中身を見える化する事も検討し、削減に繋げる。	
	水使用量の削減	×	○	使用量は減っているが、売上ダウンが大きい。 切削油の長寿命化を図り使用量の削減、節水に努める。	
	廃棄物の削減	×	○	設備更新に伴い、工場内整理を行ったため、一時的に増加した。 分別精度を上げ、有価物に回せるようにする。	
不良の削減	○	○	不良が出ないよう、客先との確認作業に時間を取られ苦慮する面もあるが、ミスのない作業を進める。		
代表者による見直し	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無				
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : ☒ 有 ☐ 無				
	原単位を変更：単年度の売上金額を原単位にすると売上がアップした年は、CO2使用量はマイナス、売上がダウンした年には、アップという結果になってしまう為、売上原単位を平準化するために5年平均とした。				
	【実施体制】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無				
	環境経営とSDGsを意識した計画を継続していく				
変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【総括】				
	環境負荷が増していく中で効率の良い作業を進めるため、設備更新、安全対策も含め、職場の環境改善に努めていく。 引き続き多発する自然災害にも備え、前年にも増してBCPの見直しも進めていく。				

注) ①定期的 (少なくとも毎年1回) に実施すること。
②事業年度が終了したら、速やかに終了事業年度の見直しをすること。
③事業内容の変更や重大な事故・不適合が生じた場合等の時は、臨時の見直しをすること。